

約四百年前の世界地図 色のおせ具合や筆致まで 影されたデジタルデータ がびょうぶとなってよみ もが忠実に再現されてい を和紙に出力しているか がえった。縦約一・八倍、 るのは、精密カメラで撮らだ。 横約三・九倍。

# 表装の技 デジタルと提携

東北大付属図書館が所蔵する「坤輿万国全圖」の複製だ。専門絵師の模写と違い、

複製は二〇〇二年か ンツ」と提携して始めた ータを出力した和紙を、 複製は二〇〇二年か ンツ」と提携して始めた ータを出力した和紙を、

「日本文化を紹介する 社向けに制作している。 期もコストも大 幅に削減。東京 国立歴史民俗博 物館や近畿の寺 模写に比べ、納 父の三郎さん全丸が社長 だった一九八〇年代。ホ テルの宴会場用に金びょうぶの量産を始めた。高 が広がっているのを知 品質を買われ、商社を通り、資料の展示方法と して首相官邸や都内のホ テルに納入された。仕切 りに使うパーテーション とともに、シェアは宴会 場付きホテルの半分以上 を占めた。

寺社や博物館が所蔵す るびょうぶや掛け軸、巻 物などの資料や文化財 を生かしたい」と四代目 をコンテンツが撮影。デ の山路宜嗣社長。仕上 が

## トップから

### 山路 宜嗣社長(33)

金びょうぶの需要が落ちてから、びょうぶに従来と違った物を張れないか、新しい価値を創出できないかと、ずっと考えてきた。



## 発想柔軟に挑戦続ける

例えば、古い着物をびょうぶに仕立てれば、思い出にインテリアとしての存在感が加わる。金ばくを張る技術そのものは寺のふすまや壁の装飾に应用し、京都の業者に頼むことが多かった中国地方の寺のニーズを掘り起こしている。

感じてほしいのは「和」の安らぎ。発想を柔軟に、常に挑戦し続ける姿勢を忘れないでいたい。



表具師がのりとほけを使って和紙を張り、びょうぶを仕立てる。表面には小じわ一つない

《会社概要》1887年にびょうぶやふすまの製造・修復を手掛ける表具屋「山路泰山堂」として創業。1999年に法人化。ホテル、式場用の金びょうぶやパーティーの製作、寺社の金ばく壁装などが主力。資本金300万円。従業員3人。2004年11月期は売上高5000万円、経常利益200万円を見込む。http://www.byoubu-ya.com

## 山路内装表具 福山市多治米町

# 文化財 びょうぶに仕立て

崩壊で需要が激減し、売り上げはピークの三分の一に。「付加価値がなく、の挑戦は続く。」 (野田華奈子)

しかし、バブル経済の 新たなニーズの開拓に成 功した。

土産物店で見つ日本画 をあしらったびょうぶ。 文化財をデジタルデー タとして保存する構想 が広がっているのを知

り、美しい印刷用の特殊 和紙も、府中市の紙卸業 受注中心の会社の方針を 転換した。

ヒントは成田空港の